

令和4年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】



上尾市立尾山台小学校

目 次

上尾市立尾山台小学校学力向上プラン「グランドデザイン」	1
1 学力調査結果の概要	
(1) 上尾市立小・中学校学力調査（令和3年12月実施） 【2～6年生：国語、算数】	2
(2) 全国学力・学習状況調査（令和4年4月実施） 【6年生：国語、算数、理科】	7
(3) 埼玉県学力・学習状況調査（令和4年5月実施） 【4～6年生：国語、算数】	10
2 学力向上を図る取組	
(1) 各教科の授業における取組	11
① 国語科 学力向上プラン	
② 社会科 学力向上プラン	
③ 算数科 学力向上プラン	
④ 理 科 学力向上プラン	
⑤ 他教科の授業改善 生活科、音楽科、図画工作科、家庭科、体育科、英語活動・外国語活動・外国語科、 特別の教科 道徳	
(2) 教育活動全体を通じた取組	22
○本校の特色ある取組	
○家庭教育との連携	

上尾市立尾山台小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- 明るい子（元気にあいさつ、笑顔あふれる子）
- 考える子（自分の考えを表現し、共に学ぶ子）
- たくましい子（体を動かし、最後までやりぬく子）

学校課題研究主題

自ら学び、考え、共に高め合う児童の育成～個別最適な学びからのアプローチ～

学力・学習状況調査の結果

R4 全国学力・学習状況調査	R4 埼玉県学力・学習状況調査	R3 上尾市立小・中学校学力調査
国語 文の中における主語と述語等の関係を捉えることはできるが、必要な情報を見つけて要約することや条件に応じて詳しく書き直すことに課題がある。 算数 図形を構成する要素に着目し、面積の求め方と答えを記述することに課題がある。 質問紙 学習習慣に課題がある。	国語 読書や音読に継続的に取り組むことで「読むこと」に伸びが見られた。一方、「書くこと」に課題がある。また、無回答率の高さも課題である。 算数 習熟に取り組むことで学力の伸びも見られたが、領域では「図形」、観点では「数学的な考え方」に課題がある。 質問紙 学習に対する意欲や粘り強さに課題がある。	国語 必要感のある単元のゴールを設定することで、「書くこと」に伸びが見られた。一方、「漢字の習得」に課題が見られる。 算数 T・T指導や少人数指導、ICTの活用など個別の支援を充実させたことで、伸びが見られたと考えられる。一方「数と計算」、特に文章から読み解く問題に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ・既習事項を学習や生活で活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって課題解決する力 ・対話的な学習を通して、考えを深める力 	<ul style="list-style-type: none"> ・能動的に学ぶ力 ・既習事項を学習や生活で活用する力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ●ICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフトの活用 ・デジタルドリルによる反復学習（計算・漢字） ●学習形態の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導（算数科） ●一部教科担任制 	<ul style="list-style-type: none"> ●問題解決学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・課題別学習（理科、社会、OKタイム個人総合） ●学習形態の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・単元内自由進度学習 ・バズ・グループ活動 ・知識構成型ジグソー法 	<ul style="list-style-type: none"> ・「問い」を生む授業展開 ・体験的活動の充実 ・意欲を高める課題と定着を図る学習の充実

本校の特色ある取組

- ・少人数指導、一部教科担任制、自由進度学習
- ・ほめる教育の推進
- ・学びタイムの実施
- ・掲示物等の環境整備

家庭教育との連携

- ・学校メール配信システム、各種便り、ホームページによる情報発信
- ・学校公開（オンラインの活用）
- ・教育相談日の積極的な活用
- ・おや小応援団との連携

1 学力調査結果の概要

(1) 上尾市立小・中学校学力調査(令和3年12月実施)

第2学年(令和4年度第3学年)【国語】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や必要性を感じさせながら取り組ませることができたため、主体的に学習に取り組む態度が全国平均を上回った。 ・主語、述語の指導を日常的に行ったため、全国比較を上回った。 	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現を伴う学習に対しては課題のある児童が多い。漢字を正しく読むことができても書くことができない児童が多い。 	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> ・「」の定着がまだできていない。日常的な指導を続ける必要がある。 ・内容の理解や文章のつながりについて理解することが難しいため、教師のモデリングを多くし思考・判断・表現のパターンを少しずつ積み重ねる必要がある。

第2学年(令和4年度第3学年)【算数】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決や対話的学習を多く取り組ませることができたため、主体的に学習に取り組む態度が全国平均を上回った。 ・かけ算の指導をくり返し行ったため、全国平均を上回った。 	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能、思考・判断・表現共に課題がある児童が多い。 ・長さの単位の理解や、文章から読み取って問題を解くこと、自己の思考について、数学的に説明することに大きな課題がある。 	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位の定着が進んでいないため、日常的に長さについて意識させる必要がある。 ・数学的な思考をすることに加えて、国語的な読解や文章表現が重なることに困難さがあるため、自力解決の際に文章で表現させる指導を積み重ねる必要がある。

第3学年(令和4年度第4学年)【国語】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」以外は、全国平均を上回っている。 ・「書くこと」においては、授業で文章の構成を学習したり、毎日日記を書くなど文章を書くことに慣れたりしてきた成果である。 	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」が全国平均を下回っている。話の中心に気を付けて聞く力が弱い。 ・「言語文化」の中で漢字を正しく読むことが苦手である。 	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> ・話の中心に気を付けて聞くことが苦手である。話の要旨を書かせる取組が必要である。 ・熟語の知識が乏しい児童が多い。新出漢字の熟語集めや意味調べをさせるなど語彙を増やす必要がある。

第3学年(令和4年度第4学年)【算数】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均をどの領域も上回っている。 ・既習事項を活用して解決していく力が育っている。 	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・「測定」の長さを正確に読み取ることができない。 ・単純な文章問題はできるが、複雑になると正答率が低い。 	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位がまざってしまう児童が多い。長さを正確に読み取れるように、日常生活の中でも測定する場面を多く設定する必要がある。 ・文章問題の内容把握を苦手とする児童が多い。アンダーラインを引いたり、図を描いたりするなど見当をつけながら問題を解くように習慣付ける必要がある。

第4学年(令和4年度第5学年)【国語】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・「表現に気を付けて作文を書くこと」や「主体的に学習に取り組む態度」は全国平均に近い。 ・学校課題研究で「書くこと」をテーマに児童が書きたくなるような単元のゴールを設定した成果が現れている。 	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に全国平均を下回っているが、特に「四年生で習った漢字を正しく書くこと」に大きな課題がある。 	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く時など、学習した漢字を日常的に使うことができていない。 ・落ち着いて学習に向かう習慣が身に付いていない児童もいる。

第4学年(令和4年度第5学年)【算数】

項目	項目	
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用したことにより、図形の性質を視覚的に捉えとらえることができた。 	
課題	(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に全国平均を下回っているが、特に「億を超える大きな数について」と「割り算のひっ算」に大きな課題がある。 	(要因分析) <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧さが足りず、筆算の位がそろわなかったり数字が違う数字に見えてしまったりする児童がいる。 ・苦手意識が強く、主体的に学習に取り組む態度の数値も低い。

第5学年(令和4年度第6学年)【国語】

項目	項目		
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度よりも全国平均に比べ高くなっているものが多い。 ・領域では「話すこと・聞くこと」、内容では「話し合いで気をつけること」が全国平均に比べ特に高い。 ・話し合いを行う際に目的や自分の立場を明確にしたり、出し合った意見をもとにまとめるよう意識して指導を行ったことで習得を図ることができた。 		
課題	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域と内容では「書くこと」に課題が見られる。 ・「主体的に取り組む態度」が全国平均を下回っている。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を伝えたいのか語彙力が不足している児童が見られる。語彙を増やし、意味調べを行っていくなどの活動が必要である。 ・「書くこと」について苦手意識を感じている児童が多いので、はじめ・中・おわりに分かれているワークシートなど段落や話のまとまりを意識させたりする活動が必要である。 </td> </tr> </table>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域と内容では「書くこと」に課題が見られる。 ・「主体的に取り組む態度」が全国平均を下回っている。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を伝えたいのか語彙力が不足している児童が見られる。語彙を増やし、意味調べを行っていくなどの活動が必要である。 ・「書くこと」について苦手意識を感じている児童が多いので、はじめ・中・おわりに分かれているワークシートなど段落や話のまとまりを意識させたりする活動が必要である。
<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域と内容では「書くこと」に課題が見られる。 ・「主体的に取り組む態度」が全国平均を下回っている。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を伝えたいのか語彙力が不足している児童が見られる。語彙を増やし、意味調べを行っていくなどの活動が必要である。 ・「書くこと」について苦手意識を感じている児童が多いので、はじめ・中・おわりに分かれているワークシートなど段落や話のまとまりを意識させたりする活動が必要である。 		

第5学年(令和4年度第6学年)【算数】

項目	項目		
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と計算」、「図形」、「測定」の領域で全国平均を上回った。 ・TTで1人1人に支援することや家庭学習で復習を繰り返し行い、定着を図ったことが成果につながった。 		
課題	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合同な図形」、「平均」に課題がある。 ・「主体的に学習に取り組む態度」が低い。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの活用や平均では無回答が半分を占めていた。引き続き反復学習を行い、習熟を図っていく。 ・計算を暗算で求めたり、小さく書き簡単な計算ミスが多い。丁寧さを心がけるよう指導していく。 </td> </tr> </table>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合同な図形」、「平均」に課題がある。 ・「主体的に学習に取り組む態度」が低い。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの活用や平均では無回答が半分を占めていた。引き続き反復学習を行い、習熟を図っていく。 ・計算を暗算で求めたり、小さく書き簡単な計算ミスが多い。丁寧さを心がけるよう指導していく。
<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合同な図形」、「平均」に課題がある。 ・「主体的に学習に取り組む態度」が低い。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの活用や平均では無回答が半分を占めていた。引き続き反復学習を行い、習熟を図っていく。 ・計算を暗算で求めたり、小さく書き簡単な計算ミスが多い。丁寧さを心がけるよう指導していく。 		

第6学年(令和4年度中学校第1学年)【国語】

項目	項目		
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の気持ちを想像しながら読み取ることは、全国平均を越えることができた。 ・国語授業での読み取りや読書の推奨によって効果が表れたと考える。 		
課題	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点では知識・理解が、領域では言語文化が、大きく全国平均を下回っている。 ・漢字の読み書き、言葉の知識に課題が見られる。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解が低いことで、悪循環が生まれていると考える。 ・知らないこと、忘れてしまったことに対して、改善しようとする気持ちではなく、苦手意識を生んでいると考える。 ・基本的な知識の習得に意欲的になれないことで、全体的な学力の低下につながっていると考える。 </td> </tr> </table>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点では知識・理解が、領域では言語文化が、大きく全国平均を下回っている。 ・漢字の読み書き、言葉の知識に課題が見られる。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解が低いことで、悪循環が生まれていると考える。 ・知らないこと、忘れてしまったことに対して、改善しようとする気持ちではなく、苦手意識を生んでいると考える。 ・基本的な知識の習得に意欲的になれないことで、全体的な学力の低下につながっていると考える。
<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点では知識・理解が、領域では言語文化が、大きく全国平均を下回っている。 ・漢字の読み書き、言葉の知識に課題が見られる。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解が低いことで、悪循環が生まれていると考える。 ・知らないこと、忘れてしまったことに対して、改善しようとする気持ちではなく、苦手意識を生んでいると考える。 ・基本的な知識の習得に意欲的になれないことで、全体的な学力の低下につながっていると考える。 		

第6学年(令和4年度中学校第1学年)【算数】

項目	項目		
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・図形に関しては全国平均を上回ることが多く見られる。 ・デジタル教科書等で図形の感覚を身に付けられたことが要因として考えられる。 		
課題	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の感覚(作図等)では、習得が見られるが、知識として言語化することに課題が見られる。 ・分数の掛け算、割り算に課題が見られる。授業等では、理解しているが、習得に至らない児童がいたと考られる。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での知識理解はできても、それを習得し、言語化して説明をすることができる児童は少ない。 ・繰り返し学習する習熟が不足し、その場しのぎの学びで終わってしまっている児童が多い。 ・授業進度とは別に、計算問題に取り組む活動が必要と考える。 </td> </tr> </table>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の感覚(作図等)では、習得が見られるが、知識として言語化することに課題が見られる。 ・分数の掛け算、割り算に課題が見られる。授業等では、理解しているが、習得に至らない児童がいたと考られる。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での知識理解はできても、それを習得し、言語化して説明をすることができる児童は少ない。 ・繰り返し学習する習熟が不足し、その場しのぎの学びで終わってしまっている児童が多い。 ・授業進度とは別に、計算問題に取り組む活動が必要と考える。
<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の感覚(作図等)では、習得が見られるが、知識として言語化することに課題が見られる。 ・分数の掛け算、割り算に課題が見られる。授業等では、理解しているが、習得に至らない児童がいたと考られる。 	<p>(要因分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業での知識理解はできても、それを習得し、言語化して説明をすることができる児童は少ない。 ・繰り返し学習する習熟が不足し、その場しのぎの学びで終わってしまっている児童が多い。 ・授業進度とは別に、計算問題に取り組む活動が必要と考える。 		

(2) 全国学力・学習状況調査(令和4年4月実施)

国語

考察(問題と結果の分析)

・文の中における主語と述語との関係や修飾と被修飾との関係を捉えることについては、比較的理解できている。
・必要な情報を見つけて要約することや、条件に応じて詳しく書き直すことに課題がある。また、漢字を文章の中で正しく使うことにも課題がある。

課題の要因分析

・複数の文章や資料等を結び付けて必要な情報を見付け、まとめていくことができていない。また、場面に応じた言葉の使われ方の違いへの気づきが曖昧で、語彙力が不足している。



各学年における重点指導事項

6年	・事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができるようにさせる。
5年	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにさせる。
4年	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結び付けて想像して読んだり、感じたことや調べたことを内容の中心を明確に書いたりすることができるようにさせる。
3年	・段落毎の内容や繋がりを考えながら読んだり、主語と述語を意識して書いたりすることができるようにさせる。
2年	・文の中における主語と述語の関係に気づき、読み書きができるようするとともに、はじめ、中、終わりを意識して、読み書きできるようにさせる。
1年	・言語についての基礎的内容を定着させ、身近なことを表す語句を増やし、話や文章の中で使えるようにさせる。

算数

考察(問題と結果の分析)

・割合や百分率に関する知識の定着が不十分であった。プログラミングについても課題がある。自身の考えを図式化するなど、思考を整えていく手立てが必要である。

課題の要因分析

・日常の事象について、表、式、グラフなどを用いて数学的に解釈したり説明したりする力に乏しい。



各学年における重点指導事項

6年	・割合や単位量あたりの大きさについて考える学習では、数直線や線分図を利用して問題場面を捉えさせ、割合の意味を十分理解させる。
5年	・単位量あたりの大きさや割合について考える学習では、数量関係をテープ図や数直線、図などを用いて表し、問題場面を捉えさせる。 ・日常生活の場面で使えることも多いことに気付かせる。
4年	・図形を構成する要素や位置関係に着目し、図形の性質を見出し、その性質を基に図形を捉えさせる。
3年	・三角形と角の学習では、コンパスの使い方の習熟を図ると共に、二等辺三角形や直角三角形など角の大きさと図形について十分理解させる。
2年	・数の概念について理解を深め、基本的な知識及び技能の定着をさせる。 ・問題解決的な学習を通して、数学的な見方・考え方を成長させる。
1年	・基礎的・基本的な知識及び技能の定着させる。

理科

考察(問題と結果の分析)

・一定の知識は身に付いているものの、条件の変化による結果の変化を予想するに課題がある。実験や観察の結果を分析し、考察したことを分かりやすく表現できるようにすることが必要である。

課題の要因分析

・結果の一面を理解するだけにとどまり、多面的に思考を働かせることができていない。



各学年における重点指導事項

6年	・結果から分かることを区別するとともに、結果から読み取れることを言葉や図を使って表現し、伝え合う機会を設定する。
5年	・予想や仮説を基に、解決の方法を考える力や主体的に問題解決することができるようにし、自身の考えを伝え合う機会を設定する。
4年	・自然の現象から見出した問題について、生活経験を基に根拠ある予想を考え、問題解決することができるようにし、自身の考えを伝え合う機会を設定する。
3年	・身近な生き物や自然現象から、差異点や共通点を見付け出し、観察から言えることをキーワードや図を使って表すようにする。分かったことを伝え合う機会を設定する。

(3) 埼玉県学力・学習状況調査(令和4年5月実施)

国語

学年	項目
4年	考察(現状分析・実態) ・学力レベルでは、各領域において県平均を越えることができている。 ・言語に関わる知識は十分であるものの、音読み・訓読みの違いについて課題がある。 ・書くことの問題については、課題がある。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・授業における課題やまとめ、振り返りを発表させる取り組みを継続していることが理解の定着につながっている。 ・児童自身の考えを伝え合う活動を設定し、理解を深めさせていく必要がある。 ・日常的に、短文を書く活動を継続し、書く力を引き続き身に付けさせていく必要がある。
5年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・学力レベルでは、各領域において県平均を下回っているが、昨年度と比較すると、県平均に近づいてきている。 ・5学年児童の学習への意欲が高まってきているが、最後まであきらめずに取り組める児童は少ない。 ・書くことの問題と読むことの問題に課題がある。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・主体的に学習に取り組む態度の項目が0. 2ポイント向上し、学習規律を整えている成果が徐々に現れている。 ・書くことだけでなく、読むことに課題があるので、読書に親しむ機会を増やし、正しい日本語に触れる機会を設定する。 ・定期的に短文を書き、学級で交流することで、書くこと・読むことに関する学力の向上を図る。
6年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・我が国の言語文化の領域では、県平均を上回ることができた。読むこと、書くことについては、県平均を下回った。 ・実力を身に付けている児童もいるが、発言に消極的な児童が多く、学習理解を深めることができない面が見られる。 ・自分の考えを文章化することが苦手な児童が多く、語彙が少ない。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・読書への意欲が高く、読解力が高まってきているので、さらに読書を奨励していく。 ・意見を交流する機会を設定し、より学習への理解を深め、適切な言葉を選択することができるようにしていく。 ・定期的に短文を書き、学級で交流することで、書くこと・読むことに関する学力の向上を図る。

算数

学年	項目
4年	考察(現状分析・実態) ・学力レベルでは、各領域において県平均を上回ることができている。 ・図形の領域に課題が見られる。 ・数と計算の領域において、言葉の式と数式を関連付けることに課題があった。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・授業における課題やまとめ、振り返りを発表させる取り組みを継続していることが理解の定着につながっている。 ・図形の性質を理解しつつも、図形の感覚が不十分な児童が見られる。簡単な図形の問題に定期的に取り組ませる。 ・数式を解答するとはできるが、数式から状況を言語化することに課題がある。問題を説明し合う取組を設定する。
5年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・昨年度の学力レベルでは、県平均を下回っていたが、ほぼ同程度に上げることができた。 ・図形の問題に課題が見られる。 ・丁寧に、最後までやり抜くことができる児童が少ない。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・個々の課題に対応してきた成果として、課題解決をあきらめずに取り組もうとする児童が増えた。 ・自分の考えに固執する児童が多いので、自分の考えを伝え合う機会を設定し、多面的に課題に取り組めるようにする。 ・分配法則や図形の性質等、単元終了後に忘れてしまわないように、定期的に確認できる掲示やミニテストを行う。
6年	考察(児童の伸びの傾向・実態) ・昨年度までの学力レベルでは、県平均を下回っていたが、ほぼ同程度に上げることができた。 ・変化と関係やデータの活用の領域に課題が見られる。 ・図形に関する問題はできているが、簡単な問題の正答率が低く、思い込みによるミスが見られる。
	これまでの成果と今後の取組(調査結果を踏まえて) ・課題に対して、深く考えられるように、自分考えを伝え合う機会を設定し、多面的に課題に取り組めるようにする。 ・単位量や百分率の問題に課題が見られるので、問題を図式化し、理解を深めて課題解決できるようにしていく。 ・平均、百分率、割合等の用語の意味が身に付けられるように、定期的に確認できる掲示やミニテストを行う。

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

① 国語科 学力向上プラン

重点的に伸ばす学力

- ①言語についての知識及び技能
- ②「読む」「書く」能力
- ③進んで学習や生活に活用していく力

各学年の授業改善

学年	具体的な取組	取組の効果
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・書いたものを読み返す活動を設定する。 ・読書に親しめる場を設ける。 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・書いたものを少人数で交流する活動を設定する。 ・読書に親しみ、色々な本を読む機会を設ける。 ・短文の作文や基礎的な語彙、文法のプリントに取り組む時間を設ける。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・書いたものを読み返したり、児童相互で交流したりする活動を設ける。 ・読書に親しむ機会を設定する。 ・国語辞典を使って意味を調べる機会を設定する。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典、漢字辞典を使って意味を調べる機会を設定する。 ・読書に親しむ機会を設定する。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむ取組として、単元の最期にビブリオバトル等を設定する。 ・国語・漢字辞典の使用を習慣化できるよう言語についての学習で積極的に使用させる。 	
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・漢字辞典を積極的に活用させる。 ・書く活動では、推敲したり助言し合ったりさせる時間を確保する。 	

A・・・取組の効果が十分に見られた
B・・・今後も課題として取り組む

② 社会科 学力向上プラン

重点的に伸ばす学力

- ①社会的事象に関する基礎的・基本的な知識及び技能
- ②それらを活用する力や課題を探究する力

各学年の授業改善

学年	具体的な取組	取組の効果
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを新聞にし、伝え合い聞き手に伝わるように表現できるよう指導する。 ・ワークシートやノートや地図に自分の考えを書きまとめる活動を設ける。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・発表活動の工夫（授業のまとめをノートにまとめて発表、新聞にまとめ発表、学習者用端末（インターネット・スライド）の活用、ワークブックの活用を行う。 ・グループで自分の考えを発表しながら話し合う場を設定する。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・課題について調べたり、考えたりする時間を充分確保していく。 ・課題に対するまとめと振り返りをノートに記録したり、新聞にまとめたりして学習内容の定着を図る。 	
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・板書計画やワークシートを工夫し、視覚的にも歴史事象や政治の関係・構造を分かりやすく捉えられるようにする。 ・課題に対するまとめや授業の振り返り、単元まとめの新聞作成など、自分の言葉で内容をまとめ、学習内容を習得させる。 	

A・・・取組の効果が十分に見られた

B・・・今後も課題として取り組む

C・・・取組を見直す

③ 算数科 学力向上プラン

重点的に伸ばす学力

- ①基礎的・基本的な知識及び技能
- ②課題に対して見通しをもち筋道を立てて考えることのできる力

各学年の授業改善

学年	具体的な取組	取組の効果
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や絵や図などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。 ・式と具体的場面を結び付けて問題作りを指導する。 ・少人数指導による個別支援を行う。 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・表や時計、リットルマスなど教材教具を積極的に活用し、視覚的に思考させることで理解の定着を図る。 ・どの段の乗法九九についても十分に習熟し、生活や学習の中で繰り返し活用させる。 ・少人数指導による個別支援を行う。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や式・図・表・グラフなどを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。 ・レディネステストの実態に応じて、習熟度別指導や個別指導の充実を図る。 ・少人数指導による個別支援を行う。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用・実際の計測を行わせることによる体験的学習の充実、導入時に行う前時の復習及び確認による理解力の向上を図る。 ・少人数指導による個別支援を行う。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・課題となっている単元について、プリント等で繰り返し学習し、内容の定着を図る。 ・図形では、デジタル教材のアニメーションを積極的に活用し、理解の定着を図る。 ・少人数指導による個別支援を行う。 	
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の学習では、作図などの活動を通して図形の観察や構成に着目できるようにさせる。 ・少人数指導による個別支援を行う。 	

- A・・・取組の効果が十分に見られた
- B・・・今後も課題として取り組む
- C・・・取組を見直す

④ 理 科 学 力 向 上 プ ラ ン

重点的に伸ばす学力

科学的な見方や考え方から、問題を解決することのできる力

各学年の授業改善

学 年	具体的な取組	取組の効果
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察をし、比較しながら調べ、見出した問題について興味・関心をもって解決させる。 ・調べたことについて、ノートに分かったことや気付いたことを書かせる。 ・言葉や絵などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。 	
4 年	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の充実を図る。(ICTの活用・ワークシートの工夫・一人に一つの実験用具) ・実感を伴える事物や現象の提示を積極的に行い、科学的な見方考え方を育てる。 ・問題解決的学習の工夫を図る。(導入実験の工夫と概念理解・学び合い学習) 	
5 年	<ul style="list-style-type: none"> ・理科学習における既習の重要語句(器材や現象)の解説や写真を掲示し、いつでも確認できるようにさせる。 ・1つの実験を少人数で実施し、全員に実験・観察の機会を設ける。 ・単元のまとめや振り返りにICTを活用する。 	
6 年	<ul style="list-style-type: none"> ・理科学習における既習の重要語句の解説や写真を掲示し、確認できるようにさせる。 ・1つの実験を少人数で実施し、全員に実験・観察の機会を与える。 ・授業のふり返りを毎時間行い、実験と結論、知識をつなげることができるようにさせる。 	

A・・・取組の効果が十分に見られた

B・・・今後も課題として取り組む

C・・・取組を見直す

⑤ 他教科の授業改善

○生活科

1 年	<p>《身に付けさせる学力》 具体的な活動や体験を通して、生活上必要な習慣や技能を身に付け、自立への基礎を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育との接続を図る ・ 他教科との関わり ・ 地域、高齢者との関わり ・ 子供の気付きの質を高める授業展開の工夫 ・ 子供たちの思いや願いを実現できる環境づくり
2 年	<p>《身に付けさせる学力》 具体的な活動や体験を通して、生活上必要な習慣や技能を身に付け、自立への基礎を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他教科との関わり ・ 地域との関わり ・ 子供の気付きの質を高める授業展開の工夫 ・ 子供たちの思いや願いを実現できる環境づくり ・ 中学年の各教科への接続

○音楽科

1 年	<p>《身に付けさせる学力》 音楽に親しみ、演奏できるようにする。楽しい音楽活動を通して音楽への興味関心をもち、楽しんで音楽活動をしようとする意欲を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽環境の整備 ・ 身近な楽器に親しむための活動の工夫 ・ 音色に合わせた簡単なリズムや旋律の演奏
2 年	<p>《身に付けさせる学力》 音楽に親しみ、演奏できるようにする。音楽経験を生かして生活を明るく潤いのある態度と習慣にしようとする意欲を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽環境の整備 ・ 声や身の回りの音の面白さに気付かせる音遊びの実施 ・ 音色に合わせた一定のリズムや旋律の演奏

3年	<p>《身に付けさせる学力》 音楽を聴いたり、楽譜を見たりして演奏できるようにする。音楽の美しさを感じ取り、進んで音楽活動をしようとする意欲を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽環境を整える ・曲想にふさわしい表現を楽器等で演奏する活動の設定
4年	<p>《身に付けさせる学力》 音楽を聴いたり、楽譜を見たりして演奏できるようにする。音楽の美しさを感じ取り、進んで音楽活動をしようとする意欲を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽環境の整備 ・即興的に表現する活動の計画的実施 ・副次的な旋律に触れさせる機会の設定
5年	<p>《身に付けさせる学力》 音楽のよさや楽しさを感じ取り、思いや意図をもって進んで音楽活動をしようとする意欲を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽環境の整備 ・呼吸法、発音法を意識した歌唱の指導 ・児童理解を深めた上での、個に応じた指導の工夫
6年	<p>《身に付けさせる学力》 音楽のよさや楽しさを感じ取り、思いや意図をもって創造的に音楽活動をしようとする意欲を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽環境の整備 ・主体的な活動から音楽性の基礎を培う指導の工夫 ・児童理解を深めた上での、個に応じた指導を工夫
○図画工作科	
1年	<p>《身に付けさせる学力》 表現欲求に基づき、楽しく造形的な視点の育成を図るとともに、楽しく生活を創造しようとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法が取れるような材料設定 ・意図的・計画的な美術作品の展示 ・身近な自然物や様々な人工物に触れさせる機会の設定
2年	<p>《身に付けさせる学力》 表現欲求に基づき、楽しく造形的な視点の育成を図るとともに、楽しく生活を創造しようとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法が取れるような材料設定 ・意図的・計画的な美術作品の展示 ・身近な自然物や様々な人工物に触れさせる機会の設定

3年	<p>《身に付けさせる学力》 表現欲求に基づき、造形的な能力の育成を図るとともに、自分の見方や感じ方を広げ、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法が取れるような材料設定 ・意図的・計画的な美術作品の展示 ・みんなで話し合っって考えるなどしながらつくる活動の設定
4年	<p>《身に付けさせる学力》 表現欲求に基づき、造形的な能力の育成を図るとともに、自分の見方や感じ方を広げ、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法が取れるような材料設定 ・意図的・計画的な美術作品の展示 ・みんなで話し合っって考えるなどしながらつくる活動の設定
5年	<p>《身に付けさせる学力》 表現欲求に基づき、造形的な能力の育成を図るとともに、主体的に対象に向かい豊かな情操を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法が取れるような材料設定 ・実態に即した児童主体の授業展開 ・意図的・計画的な美術作品の展示
6年	<p>《身に付けさせる学力》 表現欲求に基づき、造形的な能力の育成を図るとともに、主体的に対象に向かい豊かな情操を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現方法が取れるような材料設定 ・実態に即した児童主体の授業展開 ・意図的・計画的な美術作品の展示
○家庭科	
5年	<p>《身に付けさせる学力》 児童の学習意欲を高め、ねらいを明確にし、児童の生活の中から学習課題を設定するなどして、よりよい生活をつくり上げていこうとする意欲を高める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現有施設、設備の有効活用 ・学習支援ボランティアの活用
6年	<p>《身に付けさせる学力》 児童の学習意欲を高め、ねらいを明確にし、児童の生活の中から学習課題を設定するなどして、よりよい生活をつくり上げていこうとする意欲を高める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現有施設、設備の有効活用 ・学習支援ボランティアの活用

○体育科

1年	<p>《身に付けさせる学力》 目的意識をもち、運動遊びに取り組み、誰とでも協力して意欲的に運動をする児童を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における30分以上の運動量の確保 ・場づくり（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる）
2年	<p>《身に付けさせる学力》 目的意識をもち、運動遊びに取り組み、誰とでも協力して意欲的に運動をする児童を育てる。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における30分以上の運動量の確保 ・場づくり（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる）
3年	<p>《身に付けさせる学力》 目的意識をもち、自発的に運動に取り組み、仲間と協力して技能向上・体力向上に努力する児童を育てる。また、健康の大切さに気付く。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における30分以上の運動量の確保 ・場づくり（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる） ・学習カードの工夫
4年	<p>《身に付けさせる学力》 目的意識をもち、自発的に運動に取り組み、仲間と協力して技能向上・体力向上に努力する児童を育てる。また、健康の大切さに気付く。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における30分以上の運動量の確保 ・場づくり（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる） ・学習カードの工夫
5年	<p>《身に付けさせる学力》 目的意識をもち、自発的に運動に取り組み、仲間と協力して技能向上・体力向上に努力する児童を育てる。また、自己の健康の保持増進に努める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における30分以上の運動量の確保 ・場づくり（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる） ・学習カードの工夫 ・話合いの時間の確保

6 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>目的意識をもち、自発的に運動に取り組み、仲間と協力して技能向上・体力向上に努力する児童を育てる。また、自己の健康の保持増進に努める。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における30分以上の運動量の確保 ・場づくり(多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる) ・学習カードの工夫 ・話合いの時間の確保
--------	--

○英語活動・外国語活動・外国語科

1 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>英語を使った遊びを通して、英語に親しみ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語活動担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動の実施 ・他教科におけるALTと子供たちとの積極的な関わりづくり(クラスルーム・イングリッシュ)の充実 ・英語絵本の読み聞かせ ・英語の歌やダンスタイムの実施
2 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>英語を使った遊びを通して、英語に親しみ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語活動担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動の実施 ・他教科におけるALTと子供たちとの積極的な関わりづくり(クラスルーム・イングリッシュ)の充実 ・英語絵本の読み聞かせ ・英語の歌やダンスタイムの実施
3 年	<p>《身に付けさせる学力》</p> <p>英語で表現し伝え合うための見方・考え方を働かせ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTを中心とした親しみやすいコミュニケーション活動の実施 ・他教科におけるALTと子供たちとの積極的な関わりづくり(クラスルーム・イングリッシュ)の充実 ・歌やチャンツ、ゲームを通して身近な英語表現に慣れ親しむ ・ICTを活用した「話す・聞く」活動の充実

4年	<p>《身に付けさせる学力》 英語で表現し伝え合うための見方・考え方を働かせ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTを中心とした親しみやすいコミュニケーション活動の実施 ・他教科におけるALTと子供たちとの積極的な関わりづくり（クラスルーム・イングリッシュ）の充実 ・歌やチャンツ、ゲームを通して身近な英語表現に慣れ親しむ ・ICTを活用した「話す・聞く」活動の充実
5年	<p>《身に付けさせる学力》 英語による聞くこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTを中心とした親しみやすいコミュニケーション活動の実施 ・他教科におけるALTと子供たちとの積極的な関わりづくり（クラスルーム・イングリッシュ）の充実 ・ICTを活用した発表 ・書く活動の充実 ・毎時間の一問一答を通して、既習の英語表現に慣れ親しむ
6年	<p>《身に付けさせる学力》 英語による聞くこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTを中心とした親しみやすいコミュニケーション活動の実施 ・他教科におけるALTと子供たちとの積極的な関わりづくり（クラスルーム・イングリッシュ）の充実 ・ICTを活用した発表 ・書く活動の充実 ・毎時間の一問一答を通して、既習の英語表現に慣れ親しむ
○特別の教科 道徳	
1年	<p>《身に付けさせる力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。 ・友達と仲よくし、助け合おうとする態度を養う。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとする心情を育てる。 ・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする心情を育てる。 <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技 ・導入の工夫 ・ぽかぽかノート ・保護者・外部講師との連携 ・ハートメーカー

2年	<p>《身に付けさせる力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。 ・友達と仲よくし、助け合おうとする態度を養う。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとする心情を育てる。 ・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする心情を育てる。 <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技 ・導入の工夫 ・ぽかぽかノート ・保護者・外部講師との連携 ・ハートメーター
3年	<p>《身に付けさせる力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする態度を養う。 ・友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする態度を養う。 ・約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする心情を育てる。 ・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。 <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技 ・導入の工夫 ・ぽかぽかノート ・保護者・外部講師との連携 ・ハートメーター ・小グループでの話し合い
4年	<p>《身に付けさせる力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする態度を養う。 ・友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする態度を養う。 ・約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする心情を育てる。 ・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。 <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技 ・導入の工夫 ・ぽかぽかノート ・保護者・外部講師との連携 ・ハートメーター ・小グループでの話し合い
5年	<p>《身に付けさせる力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を大切にし、自律的に判断し、責任ある行動をしようとする態度を養う。 ・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても、理解しながら、人間関係を築いていこうとする態度を養う。 ・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとする心情を育てる。 ・生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重しようとする心情を育てる。 <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入の工夫 ・ぽかぽかノート ・保護者・外部講師との連携 ・ハートメーター ・ワールドカフェ ・小グループでの話し合い

6 年	<p>《身に付けさせる力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を大切にし、自律的に判断し、責任ある行動をしようとする態度を養う。 ・友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても、理解しながら、人間関係を築いていこうとする態度を養う。 ・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとする心情を育てる。 ・生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重しようとする心情を育てる。 <p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技 ・導入の工夫 ・ぽかぽかノート ・保護者・外部講師との連携 ・ハートメーター ・ワールドカフェ ・小グループでの話し合い
--------	--

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○基礎基本の充実	・少人数指導、教科担任制、デジタルドリルの活用
○道徳科の充実	・「ぽかぽかノート」を活用した心豊かな児童の育成
○外国語活動の充実	・ALTとの効果的な連携、イングリッシュトークの実施
○言語活動の充実	・書く活動での付箋を使った交流、作文の型の提示
○校内環境の整備	・学習意欲を高めるための教育環境整備、安心・安全な学校づくりのための環境美化
○開かれた学校づくり	・おや小応援団による協力体制の充実 (学校図書館整備・読み聞かせ・防犯見守り・校内環境美化)
○継続性ある取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の推進 ・いじめへの迅速な対応～いじめの見逃しゼロ～ ・ICT活用の推進

家庭教育との連携

○家庭学習の充実

- ・ 尾山台小学校ステップアッププランの活用
(家庭学習や読書の時間のめやす
1年：20分 2年：30分 3年：30分
4年：40分 5年：50分 6年：60分)
- ・ ICTの活用
(デジタル教科書、まなびポケット、Google Workspace for Education Fundamentals)
- ・ コバトンのびのびシートの活用

○家庭との連携

- ・ 学校メール配信システム「さくら連絡網」の活用
- ・ 各種便り、学校ホームページによる情報提供
- ・ PTAオープンミーティングによる話し合いの場の設定